

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府和泉市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	和泉市文化財を活用した地域活性化推進計画		
4 実施計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
<p>和泉市ふるさと空間づくり構想（平成10年1月作成）、和泉市シティプロモーション戦略（平成25年3月策定）、和泉市観光振興戦略プラン（平成28年2月策定）をふまえ、地域の文化遺産の次世代への継承・発展ならびに文化遺産を活用した地域の活性化を進めるため、以下の取り組みを実施する。また、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立・発展を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化遺産に関する総合的な情報発信事業（H26. 4. 1～H31. 3. 31） 2. 観光ボランティアクラブの人材育成事業（H26. 4. 1～H31. 3. 31） 3. 地域の文化遺産普及啓発事業（H26. 4. 1～H31. 3. 31） 4. 記録作成事業（H29. 4. 1～H31. 3. 31） 			
6 実施体制			
<p>和泉市が本実施計画全体の企画・調整や各種補助事業に関する指導等を行う。 主な担当課、役割は以下のとおり。 教育委員会生涯学習部文化財振興課：全体の調整、各種補助事業における文化財の取り扱いに関する指導、調整 市長公室いずみアピール課：広報およびシティプロモーション、観光業務に関する連携等 総務部人権・男女参画室国際化推進グループ：姉妹都市、友好都市との連携、市内在住外国人・留学生へのPR また、補助事業は次の団体が実施する。 和泉市文化財活性化推進実行委員会（委員長：前田幸子・和泉市文化財保護委員長） 構成団体（和泉市、和泉市教育委員会、和泉市文化協会、和泉商工会議所、和泉青年会議所、池上曾根遺跡史跡公園 園協力会、信太の森の鏡池史跡公園協力会、和泉観光ボランティアクラブ（ほか）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 11,108 千円	平成29年度申請額： 4,122 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>地元で伝わるかけがえのない文化財・文化遺産に対する市民の関心や意識が向上し、地域の文化財・文化遺産の保存と、次世代への確実な継承を図るとともに、文化財・文化遺産を活かした地域の活性化が期待できる。 また、行政と文化財や観光、国際交流にかかわる民間諸団体、教育機関、企業、地域コミュニティとの連携・協力体制が構築されるとともに、外国人観光客や市内在住外国人、留学生へのPRが進み、国内外の観光客の増加および和泉市シティプロモーション戦略（平成25年3月策定）、和泉市観光振興戦略プラン（平成28年2月策定）に掲げる来訪促進に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	池上曾根史跡公園で、高校軽音楽学部によるコンサート、「高校軽音フェスタ in 弥生の杜」を開催し、若者を中心に幅広い世代に文化財・文化遺産の周知を図る。		
事業概要：	和泉市いずみの国歴史館や、信太の森ふるさと館などへの入館者増加を目指し、特別展の広報活動等に取り組む。		
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>現在のところ「歴史文化基本構想」の策定年度等については未定であるが、本事業の実施により、市内の文化財・文化遺産をひろく普及し、行政や特定の団体だけでなく、市民一人ひとりがこれらを保存・活用するという意識を醸成し、今後の策定を目指す。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	和泉市教育委員会 生涯学習部 文化財振興課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 1 :	第4次ならびに第5次和泉市総合計画の目標管理のための市民アンケート調査における「和泉市の歴史文化遺産や歴史に興味を持っている」と答えた市民の割合			関連事業 :	①、②、③、④、⑤	
目標値 1 :	平成 26 年度	59 %	⇒	平成 30 年度	61 %	
設定根拠 1 :	平成17年度から平成25年度までの伸び率の平均値0.55%に対し、目標値0.6%とした。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
59 %	55 %	%	%	%	%	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産への来場者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 2 :	市内文化財施設(いずみの国歴史館、池上曽根史跡公園、信太の森の鏡池史跡公園)の来館者・来場者の合計(商工まつりによる、池上曽根史跡公園来園者は除く)			関連事業 :	①、②、③、④	
目標値 2 :	平成 26 年度	74,238 人	⇒	平成 30 年度	78,000 人	
設定根拠 2 :	平成26年度は前年度比-5%、翌27年度は前年度比-4%であった。平成30年度までにこの減少傾向に歯止めをかけ、平成25年度水準に戻す。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
74,238 人	70,928 人	81,998 人	人	人	人	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標 3 :	泉州信太山盆踊り保存会および南横山笹踊り保存会会員数(合計)の維持			関連事業 :	⑥	
目標値 3 :	平成 28 年度	74 人	⇒	平成 30 年度	74 人	
設定根拠 3 :	幸・王子町(信太山盆踊り)、父鬼町(南横山笹踊り)の人口減少の現状から、現状維持を設定した。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	74 人	人	人	人	

事業④：	和泉市歴史ウォーク	実施団体：	和泉市文化財活性化推進実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	平成26年度事業で制作した文化財総合冊子『和泉市の歴史と文化財』で紹介している文化遺産を中心に、専門家や観光ボランティアガイドの解説を聞きながら市内を巡る。また、発掘調査や市史編さん事業の成果を踏まえ、和泉市の歴史を分かりやすく解説することにより、和泉市の歴史や文化財への関心を高める。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	和泉市文化財活性化推進実行委員会Facebook公式アカウントにおける、イベント告知・イベント中・イベント後の投稿への「いいね」の数の合計					
目標値：	平成 29 年度	40	件	⇒	平成 30 年度	90 件
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
件	件	件	件	件	件	
事業⑤：	いずみ歴史トーク	実施団体：	和泉市文化財活性化推進実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	市内各所に出掛け、地元の歴史を語る講演会を開催し、発掘調査や市史編さん事業の最新の成果を紹介するほか、和泉市史『和泉市の歴史』や和泉市史紀要の内容を分かりやすく解説することにより、和泉市の歴史や文化財への関心を高める。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	和泉市文化財活性化推進実行委員会Facebook公式アカウントにおける、イベント告知・イベント中・イベント後の投稿への「いいね」の数の合計					
目標値：	平成 29 年度	40	件	⇒	平成 30 年度	90 件
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
件	件	件	件	件	件	
事業⑥：	伝統文化記録作成事業	実施団体：	和泉市文化財活性化推進実行委員会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度			
事業概要：	「信太山盆踊り」および「南横山笹踊り」について、両保存会と連携し、後継者養成のための記録映像（DVD）を製作する。成果物は、伝承のための教材として使用するほか、市立図書館等に配架し、普及に努める。また、普及版映像も製作し、文化財HPおよびYouTubeで公開する。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	DVDの利用回数およびYouTubeでの再生回数の合計					
目標値：	平成 29 年度	0	回	⇒	平成 30 年度	100 回
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
回	回	回	回	回	回	